

府中市 水害ハザードマップ

Flood Hazard Map of Fuchu City

洪水に備える3つのポイント

- 防災情報を積極的に収集しよう!
- 避難のタイミングは自分自身で決めること
- ハザードマップは無くさない

府中市水害ハザードマップは、国土交通省が公表している「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図」を基に、台風や大雨などによって多摩川が氾濫したことを想定して示した図です。

あらかじめ避難方法や避難場所を確認しておき、いざという時に役立てていただくために作成しました。

府中市ホームページ

大規模な災害発生時には、災害時用トップページに切り替わります。

URL <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

下記の二次元コードを読み取るとホームページにアクセスします。



発行 令和2年5月 府中市行政管理部防災危機管理課

〒183-0056 府中市寿町1丁目5番地 府中市中央防災センター内 電話 042-364-4111 (代表) 042-335-4098 (直通)

避難のタイミングを逃さない

多摩川が氾濫した場合に自宅のある場所がどの程度危険なのかを理解して、どのように避難すれば命を守ることができるかを確認しておきましょう。

避難行動指針チェックチャート

水害からの避難には、「立ち退き避難」と「屋内安全確保」という2つの方法があります。

「避難行動指針チェックチャート」では、自宅の場所と建物の構造から浸水危険度を判定して、避難行動指針を提示します。

1 水害ハザードマップから、自宅や職場の浸水想定の色（浸水深）を確認する。

浸水深の想定と目安



2 自宅や職場の浸水想定の色と建物の構造から浸水危険度を判定する。

- 木造建築と鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築では、氾濫流に対する建物の耐久性が異なります。
- 2階建て以上の場合、下階が水没しても浸水しない部屋（上階）があれば屋内での安全確保を行うことができますが、確実に安全が保障できる避難方法ではありません。

